

学校教育目標	めざす子どもの姿 (中期的目標)
考える子 心の美しい子 たくましい子	1 自ら考え、友と協働し合って問題を解決する子ども 2 友と認め合い、支え合って、互いを大切にしよう子ども 3 目標を持ち、自ら心身の健康を求める子ども

今年度の重点目標		評価平均	成果と課題	
① 関わり合って考える子		2.8 B	○授業の中で、ペアやグループでの学習を意図的に取り入れることにより、友と関わり合う楽しさを感じている姿が増えた。 ○お互いの考えを聞いて、自分の考えがどう動いたかを意識できるような場を設定することができた。	
② すすんであいさつをする子		2.3 C	○体みがき、姿勢教室、体を使った遊びの日常化により、楽しみながら体力をつけていく子が多く見られる。 ▲挨拶を返してこない児童が多い。中には自分から気持ちのよい挨拶をする子もいるので、個人差が大きいようだ。	
③ 元気に体をきたえる子		2.7 B		
領域	評価項目	評価の観点	評価平均	成果と課題
学校教育	学習指導 授業導入の工夫	①子ども達が一時間の見通しを持つことができているか。 ②子ども達は興味関心を持って授業に臨んでいるか。	2.7 B	○前時の振り返りや児童の興味関心が高まる導入を心がけたり、ホワイトボードを活用して視覚的に捉えられるような提示を心がけたりしている。 ○授業の流れをある程度パターン化したり、本時学習することやめて (ゴール) を提示したりすることで子どもたちが見通しをもって学習に取り組んでいる。 ○自分たちで学習問題を作り、学びの時間をスタートする場面を設定することで、自ら学んでいるという意識がもてるようになった。 ▲児童の興味関心を見極め、意欲が継続するような工夫をしていきたい。前時からの流れや本時の展開が分かるような板書を心がけていきたい。
	授業展開の工夫	③子どものニーズに応じたペア学習、グループ活動を続けているか。 ④体験活動や操作活動等の五感を働かせる活動を位置づけているか。	2.8 B	○ペア学習やグループ活動を授業に位置づけているため、互いに関わり合いながら自分の考えを友達に伝えるとともに、友から新たな視点を学ぶことも増えた。 ○実際にやってみる、触れてみる、具体物を操作して考えるといった体験活動・操作活動を多く取り入れることにより、実感を通して理解することができた。 ▲グループ学習の充実が課題である。どの場面でどんな形でグループ学習を取り入れるのか考えたり、評価をきちんと行ったりする必要がある。 ▲高学年になると、五感を通した学習がなかなか取り入れられていない現状がある。
	授業終末の充実	⑤自らの学習の学びをふり返ったり、友達の学びを認め合う場を設けているか。	2.3 C	▲授業の最後に振り返りの時間を確保しているが、時間が不足してしまい、自己の振り返りのみで終わってしまい友との共有ができないことが多い。 ▲「聞く」ことが苦手なため、集中が授業の最後まで続かないことがある。「目で見て聞く」ように声かけを行っている。
生活	あいさつが響き合う	⑥あいさつの声が校内・校外で響き合う学校に向けて取り組んでいるか。	2.0 C	○職員から積極的に挨拶をすることで、少しずつ返事が返ってくるようになった。1日の中で授業中の挨拶も含めて一つ一つ丁寧に挨拶を行っている。 ▲気持ちのよい挨拶ができる子の姿をより広め、多くの子にそのよさを感じ取らせたい。 ▲挨拶については個人差が大きく、解消に向けての取組がなかなかできていない。学年集会で話し合ったり呼びかけたりしているが不十分である。
	早期発見早期対応の生徒指導	⑦学年・学校として、職員が連携して子ども達の課題に取り組んでいるか。	3.3 A	○学年間の連絡を密に行い情報を共有することで、学年全体で児童を見守り対応できている。 ○職員会で児童理解の時間を設け、全職員が全校の児童について理解して対応していくことがとてもよいと思う。 ○トラブルを未然に防ぐ関わり方のあり方を心がけ、トラブル発生時の迅速な対応を行っている。未然防止を心がけていきたい。 ○子どもの思いはどこにあるのか、起きたことをきちんと聞き取るようにした。全職員 (複数職員) で対応していくことを今後も大事にしたい。
学級経営	学級づくり・仲間づくり	⑧道徳や特別活動の時間で、子どもと教師間・子どもと子ども間の信頼関係を構築する活動が行われているか。 ⑨子どもが自分を見つめ直したり所属感を高めたりできるような相談・面接活動を行っているか。 ⑩体の成長に目を向けたり、積極的に体を動かしたりするような環境づくりや子どもたちへの働きかけを行っているか。	2.7 B	○がんばった友達に自然に拍手が起きたり「すごいね」の声がかかったりできるクラスになった。担任もよい行いやがんばりを全体に伝えるように努めている。 ○小さなことでもしっかりと取り上げ、どうしたらよいかクラスで話し合ってきた。トラブルがあったときには両者の話を聞き、お互いの気持ちに気づかせた。 ○子どもの変化に目を向け、一人一人と会話をするように心がけている。子どもの言葉にじっくり耳を傾ける時間を授業内外でとるよう心がけてもきた。 ○原学級担任の先生から原学級での様子やできごとをすぐに細やかに知らせてもらえるので、特別支援学級で話を聞き、サポート・フォローすることができた。 ○子どもたちの気づきや優しい言動を広め、子どもたち同士自分の思いや考えを伝えたいような場作りを心がけていきたい。 ○1日の生活の場面を通して、友達と関わり、クラスのルールなどを子どもたちに考えさせることができたので、これからも大事にしたい。 ▲言葉遣いが悪かったり乱暴な行動をしたりする子たちを支えることに課題を感じる。友達の思いを受けとめられる子をどう育てていくかも課題である。 ▲性教育で、体の成長を感じるとともに、自分の体と友達のを大切にすることの学習を進めていきたい。 ▲何かあると担任に知らせてくれるので早期対応ができていると思うが、本音をしっかりとみているかというところ少し不安なところがある。もう少しゆとりをもち、一人一人と話す時間をつくっていきたい。
学校運営	地域との連携 適切な情報発信	⑪学校・学年・学級の指導方針や様子について、学級懇談会やお便り、HPなどでわかりやすく伝えているか。	2.9 B	○学年だより・学級だよりで児童の様子や学びの成果を具体的に伝えている。懇談会でも具体的に例をとりあげ積極的に伝えている。 ○学年だより・学級だより・保健だより等で必要な情報や学校の様子を伝えることができた。2週間に一度のおたよりでも様子や予定が伝わっていると思う。 ▲学級通信を途中から出さなくなってしまったので、子どもの興味・関心・課題を伝えていきたい。下校時刻など正確に伝えていきたい。
	P T A との協力	⑫P T A と協力しながら、よりよい学習活動や学習環境作りをめざした活動が行われているか。	2.7 B	○P T A 作業、運動会の片付け、読み聞かせなど、学習環境づくりに様々な場面で協力いただきありがたい。 ○P T A 役員の皆さんは、お忙しい中で各部の仕事を進めてくださり、感謝している。 ○保護者との連携を大切にしており、連絡を丁寧に行っている。保護者の皆さんは理解・協力してくださっていると思う。
	地域との交流	⑬神川小ボランティア・学習ボランティアが軌道に乗るような取り組みが行われているか。	2.3 C	○習字学習のボランティアはとても助かっている。クラブ活動でも講師の皆さんに助けていただき、子どもたちも楽しみにしている。 ○授業に入って子どもたちを見守り、声かけをしていただいた。また、田んぼの活動でもかかわっていただき、とても助かっている。 ○休み時間にもボランティアに入っただき、ありがたかった。 ▲放課後学習、お散歩、学級園活動、机椅子のサイズ合わせなどを、ボランティアの方にお手伝いいただければどうか。 ▲ボランティアの方にあまり入っただき、ありがたいので2学期以降お願いしたいが、どんな場面でも関わっていただくとよいか課題である。
研修	授業改善の研修	⑭「安心した居場所となる学級・学校」をテーマとして、授業力向上のための研究や研修が実践できているか。	2.7 B	○「ふるさと部会」ではふるさとを好きになり、のびのび過ごせるような遊び場を見つけている。「学び合い部会」では、互いの考えや思いを気軽に話し合える雰囲気をつくっていかれるよう心がけた。身近で相談し合う姿が見られるようになってきた。 ▲公開デーを通して職員間で学び合いができている。しかしなかなか参観できないことが多いので、学年間で体制を整えるなどして、参観できるようにしたい。 ▲自分もつノウハウで対応しているが、よりより学級運営のための研修が必要だと感じている。